

国東市立 安岐小学校

学力向上プランの概要

1. 学力・学習の現状

(1) H29国東市学力調査(12月実施)で全国平均正答率をクリアした項目は

・国語92%(11/12) ・算数58%(7/12) ・理科67%(4/6)

【分析と対策】

□校内研究で国語授業のユニバーサルデザインを通して学ぶ楽しさを感じ、自ら学ぶ児童の育成について研修を深めてきた。特に焦点化・視覚化・共有化を意識し授業改善を行ってきた。国語ではその成果が出ている。算数では中学年から躓く子が出てきており、わかりやすい授業に取り組むことはもちろんだが、授業の中でねらいが達成できているのか一人ひとりの子どもをしっかりと見取っていくことが大切である。

(2) H30国語・算数・理科の単元テストで期待得点以上の児童を80%以上にする目標では

・国語87%(7/8) ・算数62%(5/8) ・理科75%(3/4)

【分析と対策】

□学期毎に単元テストの結果をまとめ全職員で共有している。躓いている単元をしっかりと把握し、個別指導や補充学習ができる体制づくりを構築していくことが必要である。

2. 学力・学習にかかる重点取組と取組指標

分担	重点的取組	取組指標
学校	○課題の解決に向けた主体的・対話的で深い学びの授業に取り組む。 ～ユニバーサルな視点を大切に した授業の推進～	①毎時間ペア・グループ学習を1回以上取り入れ、発言・発表の場を位置づける。 ②毎月「児童アンケート(発表と学習規律)」と「授業自己振り返りカード」の記入を行う。 ③月1回「授業自己振り返りカード」に記入し、研究主任が集約・反省・改善する。 ④学期毎に単元テスト結果一覧表データを共有フォルダに入れ、未達成の児童については全職員で補充学習を行う。
家庭	○家庭学習の習慣化を図る。 ～安岐っ子がんばり表の活用～	①毎日、声かけや見取りを行い宿題提出100%に取り組む。 ②安岐っ子がんばり表の記入を100%にする。
地域	○学びの教室での補充学習を行う。 ○学校公開日に参加する。	①放課後学びの教室を年間30回以上実施する。 ②学校公開日に学校運営協議会から案内状を出す。

効果のある取組事例

1. 授業改善と基礎・基本の定着

(1) 「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた授業実践

全ての児童が楽しく「わかる・できる」ように工夫・配慮された授業デザインを旨とした授業改善を行っている。

(2) 授業自己振り返りカード（セルフチェック）を活用した授業改善（資料①）

全職員が、毎月「授業改善5点セット」に沿った振り返りを行い、研究主任が集約・分析し授業力の向上に努めている。

(3) 学習規律の徹底

毎月、「くにさきっ子学習十カ条」をもとに児童アンケートを実施し、結果をグラフ化し掲示している。全校集会や学年部集会で紹介し指導している。

(4) 単元テスト結果をもとにした補充学習の実施

毎週、月曜日と金曜日の朝の時間を「チャレンジタイム」として、また放課後を「個別指導」の時間として位置づけ、全職員が各学級に入り補充学習を行っている。



【授業の様子】

2. 思考力・判断力・表現力の育成

(1) 安岐小学校授業づくりスタンダード（資料②）

全職員が、「安岐小学校授業づくりスタンダード」をもとにペア・グループ学習を1時間の学習展開の中に位置付け、児童の思考力・判断力・表現力の向上を図っている。

(2) 学年部集会の実施

今年度から月1回低・中・高の学年部集会を行い児童相互で頑張っていることや良い行いを紹介し合い認める場としている。また、全校での取組を学年部で徹底している。

3. 児童の学習・生活意欲を向上させるための工夫

(1) 読書の取組

図書委員会から「お薦めの本の紹介」や読書を生活の中に繋げていくために「どーなっつST」の推進、読書への声かけを積極的に行っている。

(2) スリーマン活動の取組

安岐小学校は、伝統として『スリーマン活動』に取り組んでいる。「あいさつのハローマン・いじめ0のピースマン・無言掃除のクリーンマン」を合言葉にして、明るく・楽しく・安心して学べる環境づくりを行っている。

(3) 自力登校の取組

体力・集中力を付けるために自力登校を徹底している。PTAにも呼びかけ、1学期末では98%の児童が自力登校できている。

(4) 児童アンケートの結果を紹介（資料③）

毎月の児童アンケートの結果をグラフ化し、目標値との比較を行っている。全校集会や学年部集会で紹介するとともに、掲示している。

4. 校内運営体制

(1) 1ヶ月ごとの検証・改善サイクル（資料④）

運営委員会・学年部会・プロジェクト会議を1ヶ月ごとの短期サイクルで教務主任・研究主任・生活指導主任・体育主任を中心に検証・改善を行っている。

(2) 学年部会を実施

低学年部・中学年部・高学年部を組織し、教職員の部会はもちろん、児童の学年部集会も月1回行っている。

5. 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の取組

学校の教育活動が充実・発展していくために教育活動や環境整備等について積極的に学校支援を行っている。（資料⑤）

(1) 拡大学校運営協議会

各学校で開催している年4回の学校運営協議会に加え、年1回開催し、中学校ブロック内での各学校（安岐中・安岐中央小・安岐小）の取組を共有しながら、共通して取り組む内容を精選し、ブロック内の全家庭へパンフレットを配布している。

(2) PTAと連携した取組

PTAとしてこの1年間のスローガンを決め、専門部毎に活動テーマを話し合い、具体的取組を掲げながら実践している。

PTAスローガン「家庭でもスリーマンになろう」

- ・研修部「家庭でもピースマンを進めよう」
- ・広報部「みんなに楽しく読んでもらう新聞をつくろう」
- ・生活部「児童の安全・環境美化に取り組もうむ
- ・保体部「Enjoy！」

また、家庭での重点取組として

- ①宿題すませてスッキリ登校 「毎日の声かけと見取り」
- ②家庭でもばっちりスリーマン 「安岐っ子がんばり表」
- ③朝ごはんしっかり食べて自力登校 「児童アンケート」

の3つを「学校評価4点セット」に掲げ取り組んでいる。

(3) 地域と連携した取組

- ①毎週火曜日の朝の時間（8：15～8：30）地域の方を迎え「読み聞かせ」を行っている。
- ②月3回水曜日の放課後（14：45～16：00）8名の学習アドバイザーを迎え、年間30回以上補充学習を行っている。
- ③生活科や社会科、理科の外部講師として、環境教育や情報教育のアドバイザーとして、また体育の補助として地域の方の協力を得ている。
- ④安心・安全な教育環境づくりのため、「老人クラブ」が登下校の見守り、学校支援団体「あ組」が庭木の伐採・駐車場の草刈り・校舎内の清掃等を積極的に行ってくれている。



【朝の挨拶】



【読み聞かせ】